

## 令和7年度 武生高等学校定時制 学校関係者評価書

- (問) ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。  
・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。  
・スクールポリシーを踏まえた評価となっているか  
・その他

(意見を聞いた方)

保護者代表 PTA会長1名、会計監査委員1名  
教育振興会会長1名、副会長2名  
校友会会長1名

計6名

(意見欄)

○教育課程・学習指導

- ・越前市図書館に依頼をして授業で実施している絵本の読み聞かせ活動について、市のボランティア団体も活用してはどうか。
- ・Wi-Fi環境が整備されていることはよい。1人1台タブレット活用はどうか。  
→(例)
  - ・習熟度に差の出る数学では、とくにAIドリル「すらら」を活用している。
  - ・家にWi-Fi環境やPC端末のない生徒もいる。卒業予定者が、合格した大学からの課題にタブレットを使用して取り組んだ。

○進路支援

- ・高校1年生は、キャリア教育で就職説明会などがあるが、アルバイトの説明会などでもできるとよいのではないか。  
働きたい気持ちやアルバイトをしたい気持ちのある生徒に見合ったアルバイト先をうまくマッチングできるとよい。アルバイトからその次の就職に繋がるようなことをするとよい。

○教育相談・保健

- ・SSWやSC、教育相談の先生の存在は中学生の頃から身近にいて存在はよく分かっているので、さらに周知していくとよい。

○全体(総括)

- ・困難な背景を抱える定時制生徒に対し、丁寧に教育活動をされていることに感謝したい。
- ・保護者、学校、我々(外部評価者)といった地域の人間と緻密に連携しながら取り組んで、子供たちの学びや就職などを支援していけるとよい。
- ・地元の企業の採用担当者から、地元の人を採用したいという声をたくさん聞いている。そういう活動を地道に広げて、本校の就職活動に繋げていきたい。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

- ・多様な生活環境や学習状況にある生徒が共に学べる学校として、生徒の多様な能力や適性に応じたキャリア教育を推進し、地域の方や関係機関と連携しながら地域社会で活躍できる人材を育てる学校を目指す。
- ・生徒たちそれぞれの社会自立に必要なさまざまな学びが実現できる学校として、生徒の実情に沿いながら、教職員同士が日々丁寧に情報共有して連携し、課題に対する改善策を実行していく。